

# First Tapeout

OpenSUSI は、令和 7 年度 未踏的な地方の若手人材発掘・育成支援事業「AKATSUKI」への補助事業者として「次世代若年層向け半導体設計人材育成 “First Tapeout”プログラム」を提案する準備を進めています。

**First Tapeout** では、クリエイタは、ChipsFoundry<sup>1</sup>が提供する Sky130nm シャトルサービス「ChipIgnite<sup>2</sup>」の 1 コマ分のユーザー領域を専有して利用することができます。ユーザーエリアは 10mm<sup>2</sup>で、NAND2 換算で約 2.6M Gates に相当します。一般に 32bit の組込み RISC-V コアは数万 Gates 規模で実装可能であることから、相当規模のデジタルシステム（回路）を設計・実装することが可能です。

あわせて、民間のエンジニアリング企業（NSW 株式会社、株式会社プリバテック、株式会社日立産業制御ソリューションズ）から派遣される PM (Program Manager) が、クリエイタの発案したアイデアをデジタル回路として実装し、Layout 情報である GDSII を Tapeout するまで一貫して伴走支援を行うことで、クリエイタが、半導体開発プロセスを最初から最後まで体験することで、実践的な設計力とプロジェクト遂行力を身につけることを目指します。

OpenSUSI では、AKATSUKI への提案にあたり、半導体関連企業が集積する九州地域を起点とした「地方発未踏的事業」として構想を進めています。その実現に向け、産業技術総合研究所・九州センター、ふくおかフィナンシャルグループをはじめとする九州地区の主要な組織・機関と連携しています。さらに、九州経済産業局、九州経済連合会、SIIQ、九州経済調査会、熊本県産業技術センターといった地域機関に加え、九州大学附属・価値創造型半導体人材育成センター、熊本大学・半導体・デジタル研究教育機構などの教育・研究機関、ならびに半導体関連企業の会員組織である一般社団法人 RISE-A、一般社団法人電子情報技術協会の協力の下、産官学金連携による半導体人材育成エコシステムの構築を目指していきます。

一方で、クリエイタは全国からの公募を予定しています。教育機関に在籍し、半導体設計とチップへの実装に関心を持つ 35 歳以下の個人またはチームが応募可能です。これまでの半導体設計経験や知識の有無を問わず、半導体に実装したいアイデアの独創性や挑戦意欲が、採択における重要な評価ポイントになります。デジタル向けオープンソース試作サービスを活用し、独創的なアイデアを実際のチップとして形にしたい方は、OpenSUSI 公式 Web サイトより応募下さい。

**First Tapeout** のクリエイタ公募開始は 2026 年 5 月 を予定しています。

---

<sup>1</sup> <https://chipfoundry.io/>

<sup>2</sup> <https://chipfoundry.io/chipignite>